

東播臨海広域市町圏における  
循環型社会形成推進地域計画

平成 25 年 2 月 12 日

加古川市  
高砂市  
稲美町  
播磨町  
加古郡衛生事務組合

## 目 次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	1
(1)	対象地域	1
(2)	計画期間	1
(3)	基本的な方向	2
(4)	広域化計画との検討状況	2
2	循環型社会形成推進のための現状と目標	3
(1)	一般廃棄物等の処理の現状	3
(2)	生活排水の処理の現状	5
(3)	一般廃棄物等の処理の目標	8
(4)	生活排水処理の目標	11
3	施策の内容	13
(1)	発生抑制、再使用の推進	13
ア	資源の有効利用、再資源化の推進	13
イ	有料化	13
ウ	環境教育、普及啓発	13
エ	マイバッグ運動・レジ袋対策	13
オ	併せ産廃	13
カ	生活排水対策（衛生処理率の向上）	14
(2)	処理体制	15
ア	家庭ごみの処理体制と現状と今後	15
イ	事業系一般廃棄物の処理体制と今後	15
ウ	生活排水処理の現状と今後	15
エ	今後の処理体制の要点	15
(3)	処理施設等の整備	19
ア	廃棄物処理施設	19
イ	合併処理浄化槽の整備	19
(4)	施設整備に関する計画支援事業	20
(5)	その他の施策	20
ア	処理木材チップの需要拡大	20
イ	「取り扱わないごみ」の指定及び適切対応の啓発	20
ウ	不法投棄対策、資源物持ち去り防止対策	20
エ	災害廃棄物への対応	20
4	計画のフォローアップと事後評価	21
(1)	計画のフォローアップ	21
(2)	事後評価及び計画の見直し	21

様式1	循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1	22
様式2	循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2	25
様式3	地域の循環型社会形成推進のための施策一覧	26
参考資料様式1	施設概要（リサイクル施設系）	28
参考資料様式2	施設概要（熱回収施設系）	30
参考資料様式5	施設概要（浄化槽系）	31
参考資料様式6	計画支援概要	33
別添資料1	現有施設位置図	35
別添資料2	現有ごみ処理施設の概要	36
別添資料3	ごみの主な指標グラフ	37
別添資料4	生活排水の主な指標グラフ	38
別添資料5	ごみの分別区分	39
別添資料6	加古川市生活排水処理計画図	41
別添資料7	稲美町生活排水処理計画図	42



## 1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

### (1) 対象地域

構成市町村名 加古川市、高砂市、稲美町、播磨町及び加古郡衛生事務組合  
面積 216.96km<sup>2</sup>  
人口 430,973人（平成24年4月1日現在）

(内訳)

市町村名	加古川市	高砂市	稲美町	播磨町	合計
面積(km <sup>2</sup> )	138.51	34.40	34.96	9.09	216.96
人口(人) <sup>※</sup>	269,169	95,325	31,821	34,658	430,973

※住民基本台帳及び外国人登録に基づく人口

### (2) 計画期間

本計画は、平成25年4月1日から平成30年3月31日までの5年間の計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

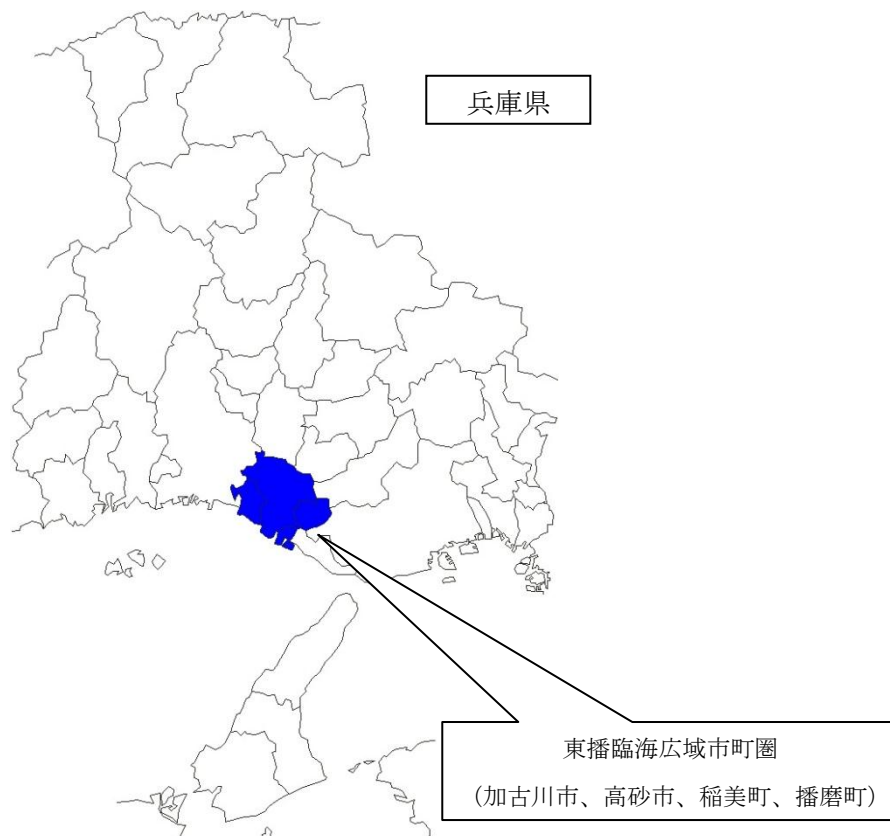


図1 東播臨海広域市町圏の位置

### (3) 基本的な方向

本地域は、兵庫県の南部に位置し、南側は瀬戸内海に面し、東側は明石市、西側は姫路市に接しており、兵庫県全域の約 3.2%の面積を占める。

広域圏を構成する 2 市 2 町はそれぞれ可燃ごみ処理施設を運営し、稲美町と播磨町では一部事務組合（加古郡衛生事務組合）にてリサイクル施設を運営してきた。

このたび、これらのごみ処理施設を集約することにより費用の削減が図れることや、より高度な公害防止対策が可能となることから新たな施設の整備が急務となっている。

また、循環型社会形成に向け更なるごみの資源化の推進が求められており、より効率的な不燃・粗大ごみ処理施設整備も必要となっている。

こうした状況の中、今後も適正な処理・処分を行うとともに、分別の徹底やライフスタイルの見直し等、関係市町が連携してごみの減量や資源化の推進を図りながら、循環型社会の形成に向けた廃棄物リサイクル・処理システムの構築を目指すこととする。

整備を予定している高効率ごみ発電施設については、広域処理実現に向け、可燃ごみ処理施設を整備し、地域内の循環型社会をより一層推進するとともに施設での積極的な熱回収や処理残さの資源化を図るものとする。同時に、マテリアルリサイクル推進施設を整備し、一層の資源化を行うものとする。

また、河川等公共用水域の水域保全のため、公共下水道等の集合処理計画区域外の区域においては合併浄化槽の整備を進めるものとする。

### (4) 広域化計画との検討状況

本地域のごみ処理施設は、平成 10 年度に策定された「兵庫県ごみ広域化計画」において加古川市及び高砂市が単独処理ブロックとして位置づけられ、稲美町及び播磨町は広域処理ブロックとして計画されているが、本計画において、東播磨臨海広域市町圏（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）として広域化を図るものである。

## 2 循環型社会形成推進のための現状と目標

### (1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成 23 年度の本地域（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）での一般廃棄物の排出・処理状況は図 2～図 6 のとおりである。

本地域全体でみると、総排出量は集団資源回収量も含めて 161,683 トンであり、再生利用される総資源化量は 21,201 トン、リサイクル率〔=(直接資源化量+中間処理後の再生利用量+集団回収量)/(ごみの総処理量+集団回収量)〕は 13.1%である。

中間処理による減量化量は 121,570 トンであり、集団回収量を除いた排出量の約 82%が減量化されている。また、集団回収量を除いた排出量の約 12.7%に当たる 18,912 トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は 138,829 トン（残渣焼却含む）である。現在の各可燃ごみ処理施設においては発電及び温水利用等による余熱利用を行っている。

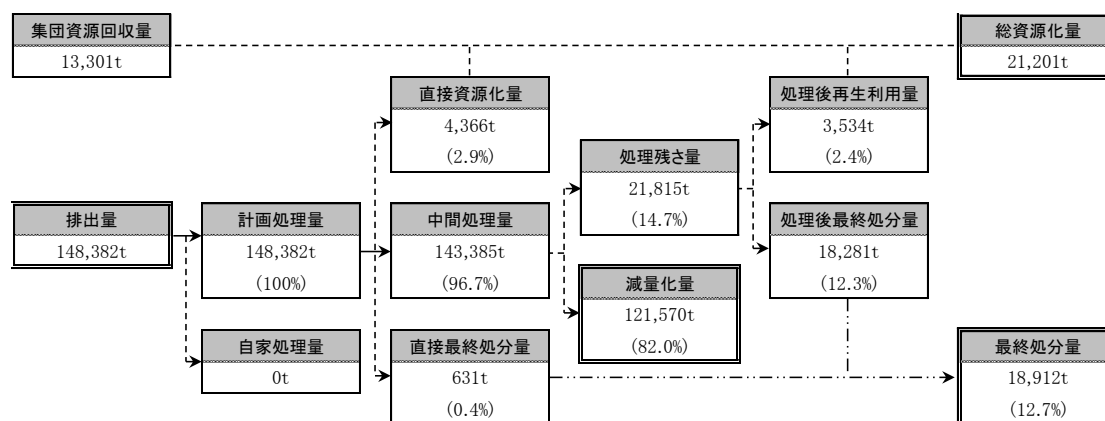


図 2 一般廃棄物の処理状況フロー（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町：平成 23 年度）

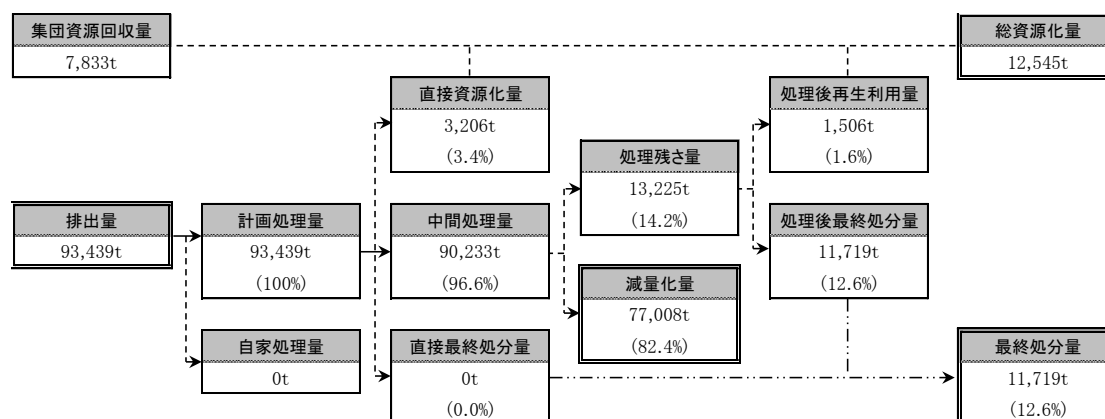
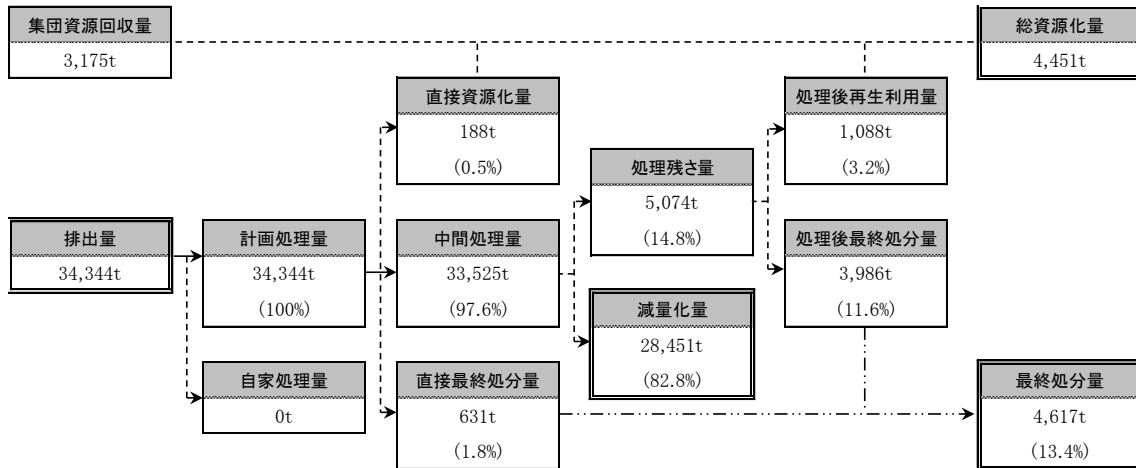
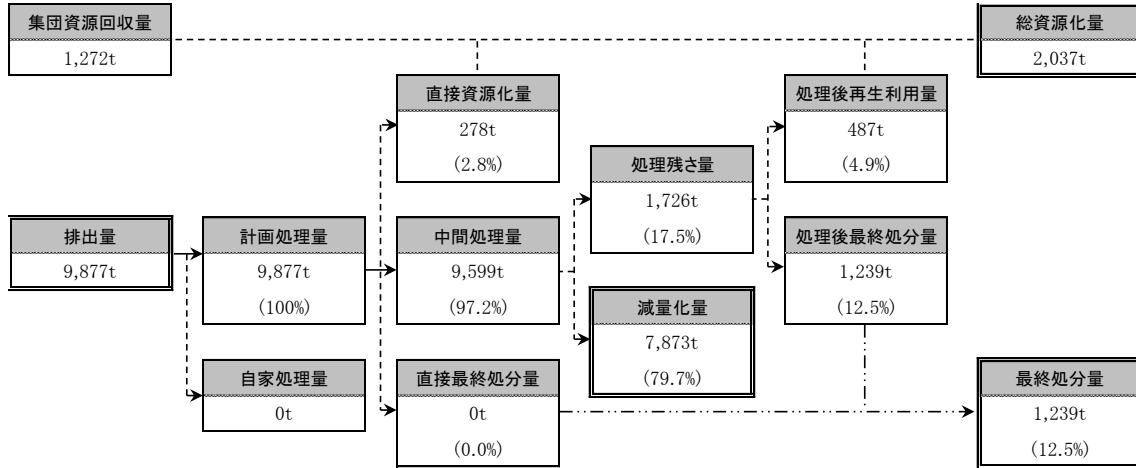


図 3 一般廃棄物の処理状況フロー（加古川市：平成 23 年度）



※パーセント表示は小数点第2位を四捨五入により求めていますので、100%にならない場合があります。

図4 一般廃棄物の処理状況フロー（高砂市：平成23年度）



※パーセント表示は小数点第2位を四捨五入により求めていますので、100%にならない場合があります。

図5 一般廃棄物の処理状況フロー（稲美町：平成23年度）

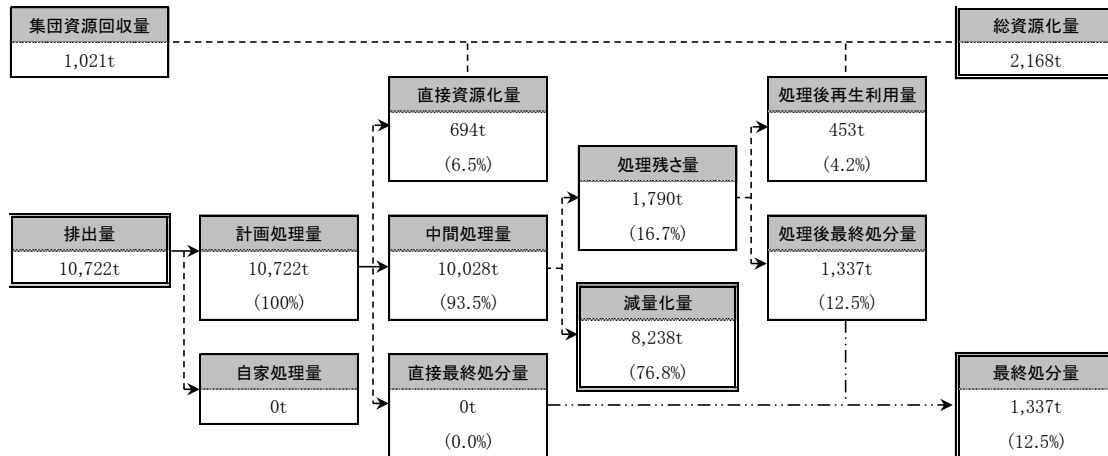


図6 一般廃棄物の処理状況フロー（播磨町：平成23年度）

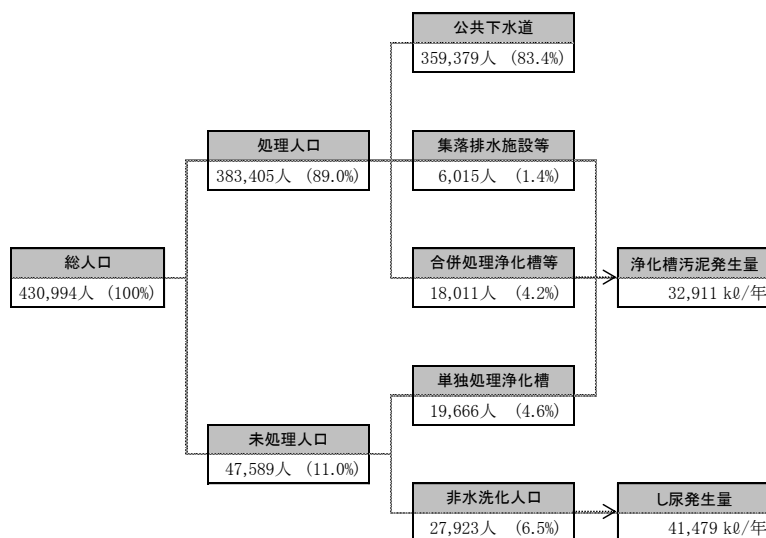


## (2) 生活排水の処理の現状

平成 23 年度の本地域（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）での生活排水の排出・状況及びし尿・汚泥等の排出は図 7～図 11 のとおりである。

生活排水処理対象人口（総人口）は 430,994 人であり、水洗化人口は 383,405 人、汚水衛生処理率は 89.0% である。

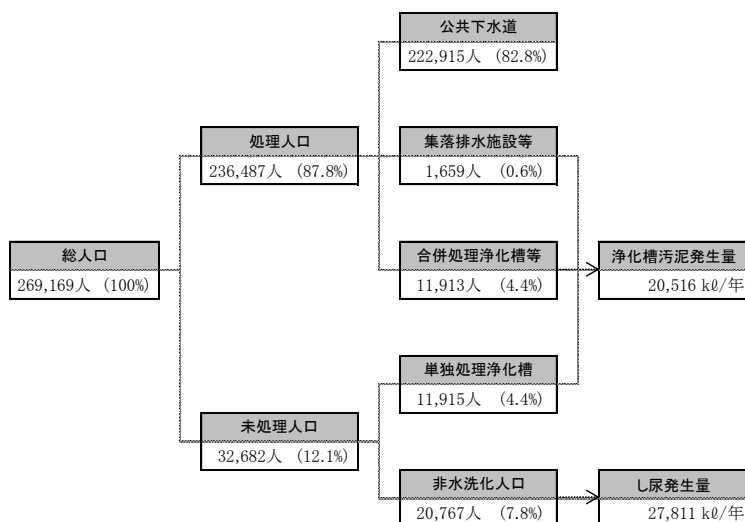
し尿発生量は 41,479kℓ/年、浄化槽汚泥発生量は 32,911kℓ/年であり、処理・処分量（＝収集・運搬量）は 74,390kℓ/年である。



※パーセント表示は小数点第 2 位を四捨五入により求めていますので、100%にならない場合があります。

図 7 生活排水の処理状況フロー

（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町：平成 23 年度）



※パーセント表示は小数点第 2 位を四捨五入により求めていますので、100%にならない場合があります。

図 8 生活排水の処理状況フロー（加古川市：平成 23 年度）

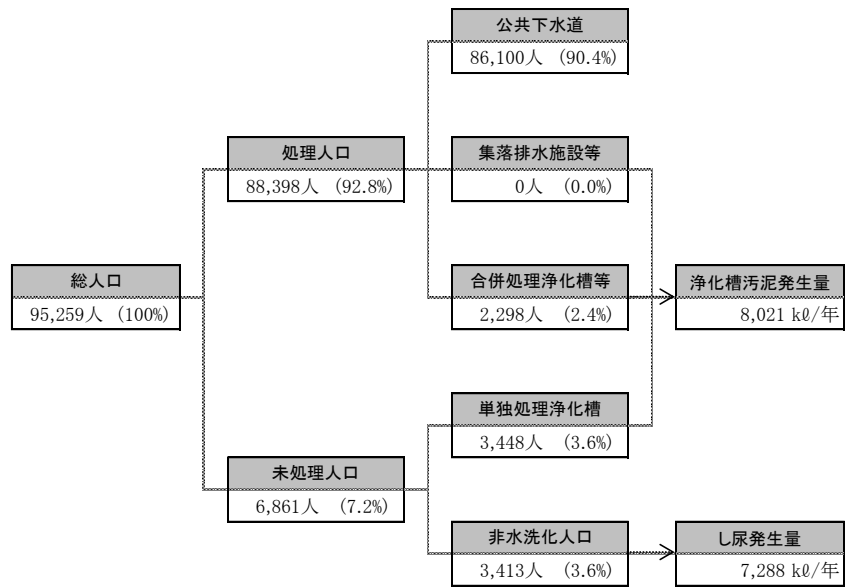


図 9 生活排水の処理状況フロー（高砂市：平成 23 年度）

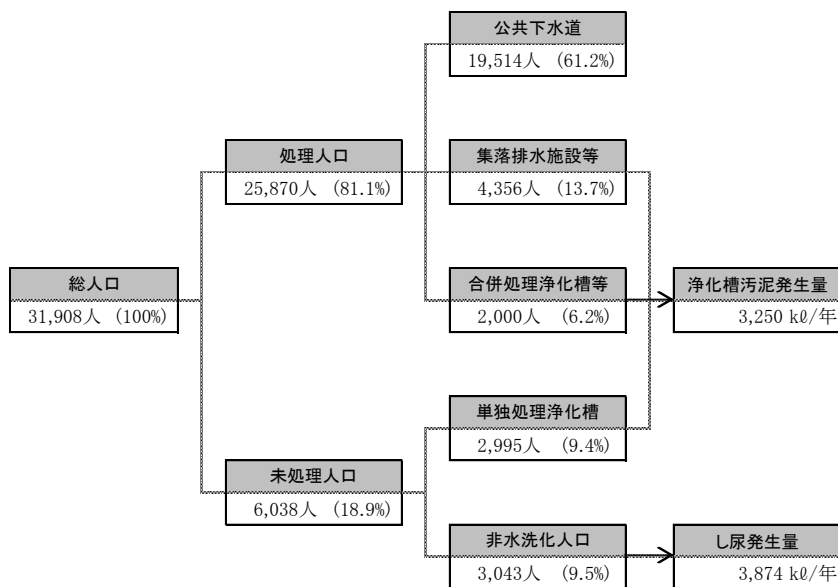


図 10 生活排水の処理状況フロー（稲美町：平成 23 年度）

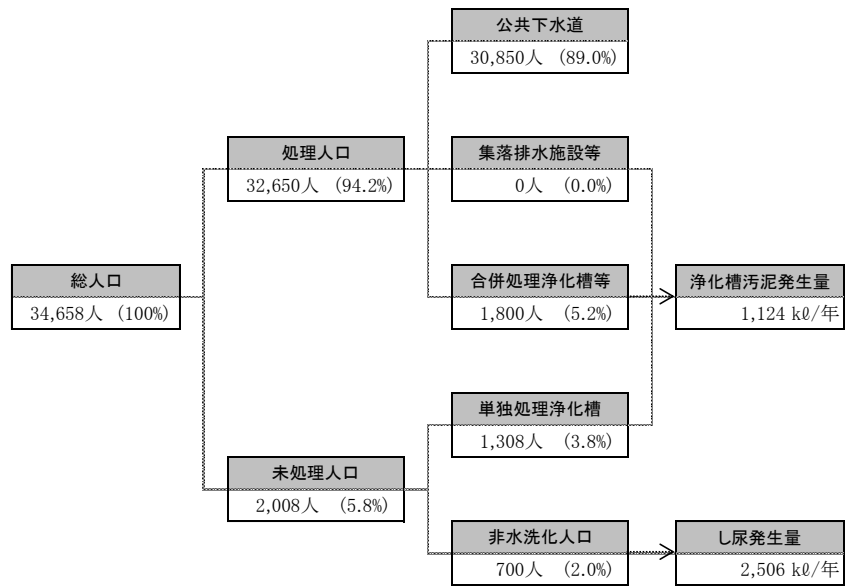


図 1 1 生活排水の処理状況フロー（播磨町：平成 23 年度）

### (3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表1～表5のとおり平成30年度の目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

なお、本地域の共同による広域処理として、中間処理施設である高効率ごみ発電施設及び不燃・粗大ごみ処理施設整備を平成34年度稼働開始を目標として、検討を進めている。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）

指 標		現 状(割合 <sup>※1</sup> ) (平成23年度)	目 標(割合 <sup>※1</sup> ) (平成30年度)
排 出 量	事業系 総排出量	52,183 トン	43,980 トン (-15.7%)
	1事業所当たりの排出量 <sup>※2</sup>	3.20 トン/事業所	2.62 トン/事業所 (-18.1%)
	家庭系 総排出量	96,199 トン	84,922 トン (-11.7%)
	1人当たりの排出量 <sup>※3</sup>	212 kg/人	188 kg/人 (-11.3%)
	合 計 事業系家庭系排出量合計	148,382 トン	128,902 トン (-13.1%)
	集団回収量を含む排出量合計	161,683 トン	140,143 トン (-13.3%)
再生利用量	直接資源化量	4,366 トン (2.9%)	5,755 トン (4.5%)
	総資源化量(集団回収を含む)	21,201 トン (13.1%)	25,574 トン (18.2%)
熱 回 収 量	熱回収量(年間の発電電力量)	30,883 Mwh	26,397 Mwh
減 量 化 量	中間処理による減量化量	121,570 トン (81.9%)	103,937 トン (80.6%)
最終処分量	埋立最終処分量	18,912 トン (12.7%)	10,632 トン (8.2%)

※1 排出量分は現状(平成23年度分)に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = { (事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量) } / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = { (家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量) } / (人口)

※4 総資源化量比率は集団回収量を含む排出量合計に対する割合

《指標の定義》

排 出 量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く。) [単位：トン]

再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位：トン]

熱回収量：熱回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位：Mwh]

減量化量：中間処理量と処理後の残さ量の差 [単位：トン]

最終処分量：埋立処分された量 [単位：トン]

表2 減量化、再生利用に関する現状と目標（加古川市）

指 標		現 状(割合 <sup>※1</sup> ) (平成23年度)	目 標(割合 <sup>※1</sup> ) (平成30年度)
排 出 量	事業系 総排出量	35,773 トン	29,691 トン (-17.0%)
	1事業所当たりの排出量 <sup>※2</sup>	3.74 トン/事業所	2.97 トン/事業所 (-20.6%)
	家庭系 総排出量	57,666 トン	50,238 トン (-12.9%)
	1人当たりの排出量 <sup>※3</sup>	202 kg/人	176 kg/人 (-12.9%)
	合 計 事業系家庭系排出量合計	93,439 トン	79,929 トン (-14.5%)
	集団回収量を含む排出量合計	101,272 トン	86,446 トン (-14.6%)
再生利用量	直接資源化量	3,206 トン (3.4%)	4,699 トン (5.9%)
	総資源化量(集団回収を含む)	12,545 トン (12.4%)	16,438 トン (19.0%)
熱 回 収 量	熱回収量(年間の発電電力量)	22,749 Mwh	19,361 Mwh -
減 量 化 量	中間処理による減量化量	77,008 トン (82.4%)	65,734 トン (82.2%)
最終処分量	埋立最終処分量	11,719 トン (12.5%)	4,274 トン (5.3%)

表3 減量化、再生利用に関する現状と目標（高砂市）

指 標		現 状(割合 <sup>※1</sup> ) (平成23年度)	目 標(割合 <sup>※1</sup> ) (平成30年度)
排 出 量	事業系 総排出量	11,387 トン	9,882 トン (-13.2%)
	1事業所当たりの排出量 <sup>※2</sup>	3.18 トン/事業所	2.76 トン/事業所 (-13.2%)
	家庭系 総排出量	22,957 トン	19,923 トン (-13.2%)
	1人当たりの排出量 <sup>※3</sup>	234 kg/人	203 kg/人 (-13.2%)
	合 計 事業系家庭系排出量合計	34,344 トン	29,805 トン (-13.2%)
	集団回収量を含む排出量合計	37,519 トン	32,765 トン (-12.7%)
再生利用量	直接資源化量	188 トン (0.5%)	164 トン (0.6%)
	総資源化量(集団回収を含む)	4,451 トン (11.9%)	3,925 トン (12.0%)
熱 回 収 量	熱回収量(年間の発電電力量)	8,134 Mwh	7,036 Mwh
減 量 化 量	中間処理による減量化量	28,451 トン (82.8%)	24,846 トン (83.4%)
最終処分量	埋立最終処分量	4,617 トン (13.4%)	3,994 トン (13.4%)

表4 減量化、再生利用に関する現状と目標（稲美町）

指 標		現 状(割合 <sup>※1</sup> ) (平成23年度)	目 標(割合 <sup>※1</sup> ) (平成30年度)
排 出 量	事業系 総排出量	2,626 トン	2,201 トン (-16.2%)
	1事業所当たりの排出量 <sup>※2</sup>	2.53 トン/事業所	2.12 トン/事業所 (-16.2%)
	家庭系 総排出量	7,251 トン	6,814 トン (-6.0%)
	1人当たりの排出量 <sup>※3</sup>	213 kg/人	200 kg/人 (-6.1%)
	合 計 事業系家庭系排出量合計	9,877 トン	9,015 トン (-8.7%)
	集団回収量を含む排出量合計	11,149 トン	9,897 トン (-11.2%)
再生利用量	直接資源化量	278 トン (2.8%)	255 トン (2.8%)
	総資源化量(集団回収を含む)	2,037 トン (18.3%)	2,237 トン (22.6%)
熱 回 収 量	熱回収量(年間の発電電力量)	0 Mwh	0 Mwh -
減 量 化 量	中間処理による減量化量	7,873 トン (79.7%)	6,523 トン (72.4%)
最終処分量	埋立最終処分量	1,239 トン (12.5%)	1,137 トン (12.6%)

表5 減量化、再生利用に関する現状と目標（播磨町）

指 標		現 状(割合 <sup>※1</sup> ) (平成23年度)	目 標(割合 <sup>※1</sup> ) (平成30年度)
排 出 量	事業系 総排出量	2,397 トン	2,206 トン (-8.0%)
	1事業所当たりの排出量 <sup>※2</sup>	2.31 トン/事業所	2.13 トン/事業所 (-8.0%)
	家庭系 総排出量	8,325 トン	7,947 トン (-4.5%)
	1人当たりの排出量 <sup>※3</sup>	232 kg/人	224 kg/人 (-3.4%)
	合 計 事業系家庭系排出量合計	10,722 トン	10,153 トン (-5.3%)
	集団回収量を含む排出量合計	11,743 トン	11,035 トン (-6.0%)
再生利用量	直接資源化量	694 トン (6.5%)	637 トン (6.3%)
	総資源化量(集団回収を含む)	2,168 トン (18.5%)	2,974 トン (27.0%)
熱 回 収 量	熱回収量(年間の発電電力量)	0 Mwh	0 Mwh -
減 量 化 量	中間処理による減量化量	8,238 トン (76.8%)	6,834 トン (67.3%)
最終処分量	埋立最終処分量	1,337 トン (12.5%)	1,227 トン (12.1%)

※パーセント表示は小数点第2位を四捨五入により求めていますので、100%にならない場合があります。

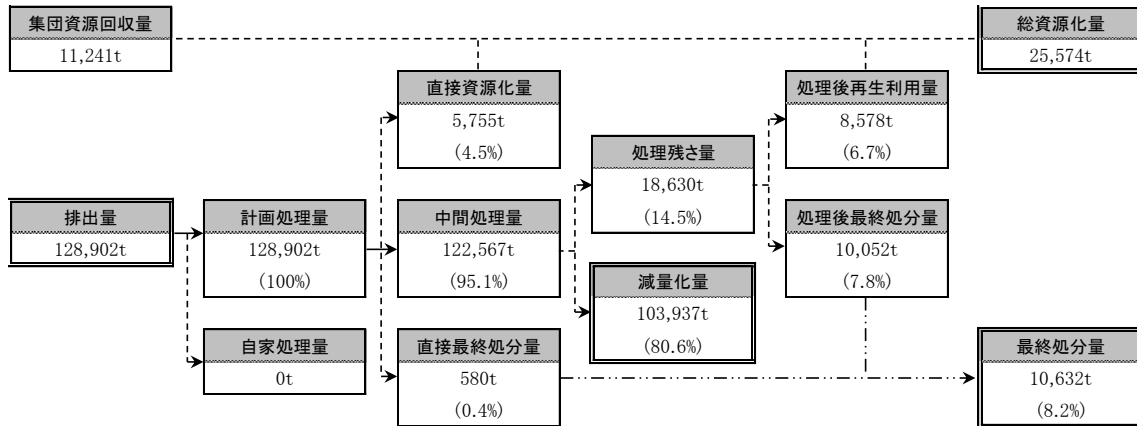


図 1 2 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー  
(加古川市・高砂町・稲美町・播磨町：平成 30 年度)

#### (4) 生活排水処理の目標

生活排水処理については、表6～表10に掲げる目標のとおり、公共下水道の整備を進めるとともに、加古川市及び稲美町は交付金制度を利用して合併処理浄化槽の整備を進めていくものとする。

表6 生活排水処理の現状と目標（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）

区 分		平成23年度実績		平成30年度目標	
処理形態 別人口	公共下水道	359,379	人 (83.4%)	375,433	人 (88.0%)
	集落排水施設等	6,015	人 (1.4%)	6,059	人 (1.4%)
	合併処理浄化槽等	18,011	人 (4.2%)	14,356	人 (3.4%)
	未処理人口	47,589	人 (11.0%)	30,750	人 (7.2%)
	合 計	430,994	人 (100.0%)	426,598	人 (100.0%)
し尿・ 汚泥の量	汲み取りし尿量	41,479	kL/年	21,042	kL/年
	浄化槽汚泥量	32,911	kL/年	25,928	kL/年
	合 計	74,390	kL/年	46,970	kL/年

表7 生活排水処理の現状と目標（加古川市）

区 分		平成23年度実績		平成30年度目標	
処理形態 別人口	公共下水道	222,915	人 (82.8%)	230,425	人 (86.3%)
	集落排水施設等	1,659	人 (0.6%)	1,659	人 (0.6%)
	合併処理浄化槽等	11,913	人 (4.4%)	9,255	人 (3.5%)
	未処理人口	32,682	人 (12.1%)	25,766	人 (9.6%)
	合 計	269,169	人 (100.0%)	267,105	人 (100.0%)
し尿・ 汚泥の量	汲み取りし尿量	27,811	kL/年	15,000	kL/年
	浄化槽汚泥量	20,516	kL/年	16,743	kL/年
	合 計	48,327	kL/年	31,743	kL/年

※パーセント表示は小数点第2位を四捨五入により求めていますので、100%にならない場合があります。

表8 生活排水処理の現状と目標（高砂市）

区 分		平成23年度実績		平成30年度目標	
処理形態 別人口	公共下水道	86,100	人 (90.4%)	88,600	人 (95.0%)
	集落排水施設等	0	人 (0.0%)	0	人 (0.0%)
	合併処理浄化槽等	2,298	人 (2.4%)	1,320	人 (1.4%)
	未処理人口	6,861	人 (7.2%)	3,380	人 (3.6%)
	合 計	95,259	人 (100.0%)	93,300	人 (100.0%)
し尿・ 汚泥の量	汲み取りし尿量	7,288	kL/年	4,000	kL/年
	浄化槽汚泥量	8,021	kL/年	6,500	kL/年
	合 計	15,309	kL/年	10,500	kL/年

表 9 生活排水処理の現状と目標（稲美町）

区 分		平成23年度実績		平成30年度目標	
処理形態 別人口	公共下水道	19,514	人 (61.2%)	23,908	人 (74.9%)
	集落排水施設等	4,356	人 (13.7%)	4,400	人 (13.8%)
	合併処理浄化槽等	2,000	人 (6.2%)	2,000	人 (6.3%)
	未処理人口	6,038	人 (18.9%)	1,604	人 (5.0%)
	合 計	31,908	人 (100.0%)	31,912	人 (100.0%)
し尿・ 汚泥の量	汲み取りし尿量	3,874	kL/年	2,042	kL/年
	浄化槽汚泥量	3,250	kL/年	2,000	kL/年
	合 計	7,124	kL/年	4,042	kL/年

表 10 生活排水処理の現状と目標（播磨町）

区 分		平成23年度実績		平成30年度目標	
処理形態 別人口	公共下水道	30,850	人 (89.0%)	32,500	人 (94.8%)
	集落排水施設等	0	人 (0.0%)	0	人 (0.0%)
	合併処理浄化槽等	1,800	人 (5.2%)	1,781	人 (5.2%)
	未処理人口	2,008	人 (5.8%)	0	人 (0.0%)
	合 計	34,658	人 (100.0%)	34,281	人 (100.0%)
し尿・ 汚泥の量	汲み取りし尿量	2,506	kL/年	0	kL/年
	浄化槽汚泥量	1,124	kL/年	685	kL/年
	合 計	3,630	kL/年	685	kL/年



### 3 施策の内容

発生抑制や、再使用等に関する施策は、各市町が定め、それぞれの施策を推進する。

なお、施策を進める上で相互の協力が必要な場合は調整・連携していくものとし、詳細については様式3に示す。

#### (1) 発生抑制、再使用の推進

##### ア. 資源の有効利用、再資源化の推進

資源の有効利用として加古川市では、現在埋立処分しているばいじんの一部を平成26年度からセメント原料として有効利用を図る。

資源回収協力として食品トレイの店頭回収を促進し、更にその他の資源回収について調査・研究を行っていく。

再資源化の推進としては集団回収に対する助成金制度の案内強化を図り、リユース容器を含む製品の積極的な利用を推進・啓発する。

##### イ. 有料化

現在、事業系一般廃棄物については、各市町で累進従量制により、課金し、直接納入方式により処理料金を徴収している。

家庭ごみについては無料にて実施しているが、今後は指定ごみ袋制や有料化を検討していく。

また、加古川市では粗大ごみの戸別有料収集を検討していく。

##### ウ. 環境教育、普及啓発

啓発活動だけでなく、社会教育や生涯教育の場にも環境に対する情報発信を幅広く行っていく。

事業系一般廃棄物については、適正排出、分別、資源化を行うよう啓発指導を行っていく。

##### エ. マイバック運動・レジ袋対策

スーパー等にレジ袋の抑制や買い物用マイバックの持参を促進するよう依頼を行い、更にレジ袋の有料化を要請していく。

##### オ. 併せ産廃

地元産業の繊維くず及び紙くずの一部を併せ産廃として受け入れを行っているが、将来的には見直しを行う。

カ. 生活排水対策（衛生処理率の向上）

水環境の負荷を抑制するため、生活排水処理の計画や整備を推進するとともに、今後は生活排水処理の課題を踏まえ、地域の実情に対応した適正な生活排水処理の早期実現に向けて、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の設置を促進していく。

また、みなし（単独処理）浄化槽設置やし尿収集の家庭に対しては、公共下水道への接続や合併処理浄化槽への転換を促進していく。

## (2) 処理体制

### ア. 家庭ごみの処理体制と現状と今後

分別区分及び処理方法については表 1 1～表 1 4 のとおりである。

現状、2 市 2 町で分別区分が異なることから、今後は平成 34 年度供用開始を目途に整備する高効率ごみ発電施設及び不燃ごみ・粗大ごみ処理センターの稼働とともに分別区分と処理方法を統一化していく。

### イ. 事業系一般廃棄物の処理体制と今後

事業系一般廃棄物の処理は家庭系と同様に分別を徹底し、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び資源ごみとして処理を行う。

年間 100 トン以上の多量排出事業者に対しては、減量計画の策定・実行を推進する。

なお、園芸業者からの剪定枝の一部を、平成 25 年度において整備予定である木くず（剪定枝）資源化施設により資源化を行う。

### ウ. 生活排水処理の現状と今後

生活排水は各市町ともに、公共下水道への接続や合併処理浄化槽への転換を促進し、未処理人口（単独処理浄化槽及び汲み取り人口）の減少を図る。

### エ. 今後の処理体制の要点

#### ○ごみの排出抑制に積極的に取り組む

広報等によりごみの排出抑制を啓発するとともに、生ごみの水切り、食べ残しを無くす、雑がみを資源ごみとした回収、詰替商品の購入等、ごみの排出抑制に取り組んでいく。

#### ○リユースに積極的に取り組む。

家庭等で不要になったもののうち、リユースが可能なものについては、積極的にリユースを行い、処理しなければならないごみの量を減らし、リユースへの取り組みを積極的に推進していく。

#### ○廃棄物の適正処理

ごみ排出抑制やリサイクルの推進により、処理しなければならないごみの量を削減した後、残ったごみについて適正な処理・処分を行っていく。

加古郡衛生事務組合では圏域内のリサイクル率の向上、破碎可燃物や最終処分量の削減のため、木くず（剪定枝）資源化施設を整備する。

なお、本地域（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）においては、共同による広

域処理として、中間処理施設である高効率ごみ発電施設及び不燃・粗大ごみ処理施設の平成 33 年度竣工を目指し、建設する。

表 1 1 家庭系ごみの処理体制の現状と今後（加古川市）

現状(平成23年度)				今後(平成30年度)							
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)	分別区分	処理方法	処理施設等		処理計画(t)			
						一次処理	二次処理				
可燃ごみ	焼却	加古川市新クリーンセンター(ごみ焼却処理施設)	50,762	可燃ごみ	焼却	加古川市新クリーンセンター(ごみ焼却処理施設)		44,227			
不燃ごみ	破砕・選別	加古川市リサイクルセンター(粗大ごみ処理施設)	1,668	不燃ごみ	破砕・選別	加古川市リサイクルセンター(粗大ごみ処理施設)		1,453			
粗大ごみ			2,025	粗大ごみ(剪定枝含む)				1,078			
資源ごみ	リサイクル	資源化業者に委託処理	びん類	1,435	資源ごみ	リサイクル	資源化業者に委託処理		びん類	1,300	
			ペットボトル	230					ペットボトル	255	
			かん類	259					資源化業者に売却	かん類	343
			衣類	372						衣類	290
		紙類(紙類、紙パック、雑がみ)	862	資源化業者に委託処理			紙類(紙類、紙パック、雑がみ)	1,232			
		蛍光灯	22				蛍光灯	30			
		乾電池	26				乾電池	30			

表 1 2 ごみの処理体制の現状と今後（高砂市）

現状(平成23年度)				今後(平成30年度)				
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)	分別区分	処理方法	処理施設等		処理計画(t)
						一次処理	二次処理	
可燃ごみ	焼却	高砂市美化センター(ごみ焼却施設)	20,446	可燃ごみ	焼却	高砂市美化センター(ごみ焼却施設)		18,027
不燃ごみ粗大ごみ	破砕・選別・圧縮・梱包	高砂市美化センター(リサイクルプラザ)	1,820	不燃ごみ	破砕・選別・圧縮・梱包	高砂市美化センター(リサイクルプラザ)		1,605
資源ごみ			リサイクル	高砂市美化センター(リサイクルプラザ)				空き缶
	空きびん	506			空きびん	429		
	ペットボトル	107			ペットボトル	85		
廃乾電池			17	廃乾電池				20

表 1 3 ごみの処理体制の現状と今後（稲美町）

現状(平成23年度)				今後(平成30年度)					
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)	分別区分	処理方法	処理施設等		処理計画(t)	
						一次処理	二次処理		
可燃ごみ	焼却	稲美町清掃センター	8,747	可燃ごみ	焼却	稲美町清掃センター		7,334	
不燃ごみ	破砕選別	加古郡リサイクルプラザ	289	不燃ごみ	破砕選別	加古郡リサイクルプラザ		256	
粗大ごみ		加古郡リサイクルプラザ	363	粗大ごみ		加古郡リサイクルプラザ			323
資源ごみ	リサイクル	あきびん類(分別)	資源化業者に売却	137	資源ごみ	リサイクル	あきびん類(分別)	資源化業者に売却	165
		ペットボトル	加古郡リサイクルプラザ	22			ペットボトル	加古郡リサイクルプラザ	33
		あき缶類(分別)	資源化業者に売却	26			あき缶類(分別)	資源化業者に売却	20
		プラスチック製容器類	加古郡ストックヤード	162			プラスチック製容器類	加古郡ストックヤード	205
		紙類(分別)	資源化業者に売却	105			紙類(分別)	資源化業者に売却	174
		布類	資源化業者に売却	10			布類	資源化業者に売却	10
		スプレー缶等	資源化業者に売却	2			スプレー缶等	資源化業者に売却	3
								剪定枝	加古郡ストックヤード 木くず(剪定枝)資源化施設

表 1 4 ごみの処理体制の現状と今後（播磨町）

現状(平成23年度)				今後(平成30年度)					
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(t)	分別区分	処理方法	処理施設等		処理計画(t)	
						一次処理	二次処理		
可燃ごみ	焼却	播磨町塵芥センター	8,620	可燃ごみ	焼却	播磨町塵芥センター		8,590	
不燃ごみ	破砕選別	加古郡リサイクルプラザ	205	不燃ごみ	破砕選別	加古郡リサイクルプラザ		193	
粗大ごみ		加古郡リサイクルプラザ	603	粗大ごみ		加古郡リサイクルプラザ			568
資源ごみ	リサイクル	あきびん類(分別)	資源化業者に売却	157	資源ごみ	リサイクル	あきびん類(分別)	資源化業者に売却	175
		ペットボトル	加古郡リサイクルプラザ	24			ペットボトル	加古郡リサイクルプラザ	27
		あき缶類(分別)	播磨町塵芥処理センター空き缶プレス施設	34			あき缶類(分別)	播磨町塵芥処理センター空き缶プレス施設	38
		プラスチック製容器類	加古郡ストックヤード	242			プラスチック製容器類	加古郡ストックヤード	269
		紙類(分別)	資源化業者に売却	497			紙類(分別)	資源化業者に売却	557
		布類	資源化業者に売却	65			布類	資源化業者に売却	72
		蛍光灯	資源化業者に委託	3			蛍光灯	資源化業者に委託	3
		食用廃油	資源化業者に売却	4			食用廃油	資源化業者に売却	4
				剪定枝	加古郡ストックヤード 木くず(剪定枝)資源化施設		120		

### (3) 処理施設等の整備

#### ア 廃棄物処理施設

前述(2)の分別区分及び処理体制で処理を行うため、表15のとおり必要な施設整備を行う。

なお、事業番号2及び3は廃焼却施設解体工事であり、施設本体事業は本計画期間外である。

表15 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間	備考
1	マテリアルリサイクル推進施設	加古郡ストックヤード木くず(剪定枝)資源化施設整備事業	8 t/日	加古郡播磨町新島60番地	H25	更新
2	高効率ごみ発電施設	(仮称)高効率ごみ発電施設整備事業	430 t/日 9,200kW	高砂市梅井6-1-1	H28~H29	廃焼却施設解体工事 H28~H29 施設本体事業 H30~H33 (次期計画により整備)
3	マテリアルリサイクル推進施設	不燃・粗大ごみ処理センター整備事業	40 t/日	高砂市梅井6-1-1	H28~H29	廃焼却施設解体工事 H28~H29 施設本体事業 H30~H33 (次期計画により整備)

\*別添資料として、現有処理施設の概要を添付する。

#### (整備理由)

事業番号1 資源化率の向上、破碎可燃物・最終処分場の減量

事業番号2 高効率ごみ発電施設整備事業に伴う既存焼却施設の解体

事業番号3 不燃・粗大ごみ施設センター整備事業に伴う既存焼却施設の解体

#### イ 合併処理浄化槽の整備(事業番号4)

合併処理浄化槽の整備については、表16のとおり行う。

表16 合併処理浄化槽への移行計画

事業番号	事業		直近の整備済基数(基) (平成24年度予定事業迄)	整備計画基数 (基)	整備計画人口 (人)	事業期間
4	浄化槽設置整備事業	加古川市	289	80	320	H25 ~H29
		稲美町	121	35	120	H25 ~H29
	合計		410	115	440	

#### (4) 施設整備に関する計画支援事業

前述(3)の施設整備に先立ち、表17のとおり計画支援事業を行う。

表17 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間	備考
31	(仮称)高効率ごみ発電施設整備事業(事業番号2)に係る基本設計等調査事業	基本設計等	H25～H29	
	(仮称)高効率ごみ発電施設整備事業(事業番号2)に係る環境影響調査事業	環境影響調査事業	H26～H28	事業番号3の環境影響調査を含む
32	不燃・粗大ごみ処理センター整備事業(事業番号3)に係る基本設計等調査事業	基本設計等	H25～H29	

#### (5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

- ア. 処理木材チップの需要拡大  
稲美町、播磨町ではマテリアルリサイクル推進施設の整備後において、木材チップの利用者の拡大を図る。
- イ. 「取り扱わないごみ」の指定及び適切対応の啓発  
加古川市、高砂市では特別管理一般廃棄物、有害物質含有物、爆発物・発火性のある物等は、適切な対応が図られるよう広報等により周知しており、今後も継続していく。  
また、稲美町、播磨町では周知期間を設定し、2市と同様に周知等を行っていく。
- ウ. 不法投棄対策、資源物持ち去り防止対策  
不法投棄に対する監視指導體制の充実・強化を図る。  
また、加古川市においてはステーションにおける資源ごみの持ち去り禁止条例を施行し、定期的なパトロールを実施しており、持ち去りを防止していく。
- エ. 災害廃棄物への対応  
「兵庫県災害廃棄物処理の相互応援に関する協定」に基づき、広域的に処理体制の確保を図り、充実強化を行う



#### 4 計画のフォローアップと事後評価

##### (1) 計画のフォローアップ

本地域（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）では、毎年計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて国及び兵庫県と意見交換をしつつ、計画の見直しを行う。

##### (2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成24年度) (1/2)

1 地域の概要

(1) 地域名	東播臨海広域市町圏地域	(2) 地域内人口	430,973人(平成24年4月1日現在)	(3) 地域面積	216.96 km <sup>2</sup>
(4) 構成市町村等名	加古川市、高砂市、稲美町、播磨町、加古郡衛生事務組合	(5) 地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	①組合名 加古郡衛生事務組合 ②組合を構成する市町村: 稲美町、播磨町 ③設立(予定)年月日: 昭和47年6月1日 ④設立されていない場合、今後の見通し:				

※ 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○をつける。

2 減量化、再生利用の現状と目標

年	指標・単位	過去の状況・現状(排出量に対する割合)					目標
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成30年度
排出量	事業系 総排出量(トン)	58,668	52,391	49,883	51,111	52,183	43,980 (H23比 -15.7%)
	1事業所当たりの排出量(トン/事業所)	3.60	3.22	3.06	3.14	3.20	2.62
	家庭系 総排出量(トン)	105,572	100,566	97,866	95,093	96,199	84,922 (H23比 -11.7%)
	1人当たりの排出量(kg/人)	228	220	216	211	212	188
	合計 事業系家庭系排出量合計(トン)	164,240	152,957	147,749	146,204	148,382	128,902 (H23比 -13.1%)
再生利用量	直接資源化量(トン)	6,438 (3.9%)	4,809 (3.1%)	3,993 (2.7%)	3,810 (2.6%)	4,366 (2.9%)	5,755 (4.5%)
	総資源化量(トン)(集団回収量を含む)	27,222 (14.9%)	24,661 (14.5%)	23,462 (14.5%)	22,896 (14.3%)	21,201 (13.1%)	25,574 (18.2%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量 Mwh)	32,698	31,348	30,775	30,499	30,883	26,397
中間処理による減量化量	減量化量(中間処理前後の差 トン)	136,655 (83.2%)	126,935 (83.0%)	121,536 (82.3%)	120,188 (82.2%)	121,570 (81.9%)	103,937 (80.6%)
最終処分量	埋立最終処分量(トン)	18,930 (11.5%)	17,774 (11.6%)	17,014 (11.5%)	16,967 (11.6%)	18,912 (12.7%)	10,632 (8.2%)

※ 割合は、排出量分については現状(平成23年度分)に対する割合、その他は排出量に対する割合を示す。

※ 総資源化量比率は集団回収量を含む排出量合計に対する割合を示す。

※ 別添資料3として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。

3 一般廃棄物施設の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止予定年月	更新、廃止、新設理由	型式及び処理方式	施設竣工予定年月	処理能力(単位)	
熱回収施設	加古川市	全連	有	432t/日	H15.4	H34. 3	廃止(広域化)	全連続	H34. 3	430t/日 9,200kW	可燃ごみ
	高砂市	全連	有	194t/日	H15.12	H29. 1	廃止(広域化)				
	稲美町	機バ	有	30t/日	H8.4	H34. 3	廃止(広域化)				
	播磨町	准連	有	90t/日	H4・4	H34. 3	廃止(広域化)				
リサイクル施設	加古川市	破碎選別	有	80t/日	S63・7	H34. 3	廃止(広域化)	破碎・選別	H34. 3	40t/日	不燃・粗大ごみ
	高砂市	破碎選別	有	30t/日	H15・4	H29. 1	廃止(広域化)				
	加古郡衛生事務組合	破碎選別	有	15t/日	H10・4	H34. 3	廃止(広域化)				
	加古郡衛生事務組合	圧縮梱包	有	10t/日	H13・3	H34. 3	廃止(広域化)				
	加古郡衛生事務組合	圧縮減容梱包	有	0.5t/日	H10・4	H34. 3	廃止(広域化)				
	加古郡衛生事務組合	破碎	無	8.5t/日	H12・10	H25.12	廃止(老朽化)				木くず(剪定枝)資源化施設(廃止)
	加古郡衛生事務組合					H25	更新(資源化推進)	破碎	H25.12	8t/日	木くず(剪定枝)資源化施設(更新)
	加古川市	保管	有	567m <sup>3</sup>	H24.4						紙類、蛍光灯、乾電池
	播磨町	圧縮成型	無	1t/日	H5・4						あき缶プレス施設
	播磨町	保管	無	200m <sup>3</sup>	H5・4						牛乳パック、蛍光灯保管場所
最終処分場	加古川市	準好気性	有	121,600m <sup>3</sup>	S55・7						
	加古川市	準好気性	有	120,730m <sup>3</sup>	S62.4						
	高砂市	準好気性	有	144,600m <sup>3</sup>	H4・9						
	稲美町	準好気性	有	30,888m <sup>3</sup>	S63.9						
し尿処理施設	加古川市	下水道放流	有	250KL/日	S58.4						
	高砂市	高負荷膜分離	有	90kl/日	H10・10						
	加古郡衛生事務組合	標準脱窒素	有	110kl/日	S63.4						

※ 別添資料1として計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付した。

様式1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1（平成24年度）（2/2）

4 生活排水処理の現状と目標

指 標・単 位	過去の状況・現状					目 標	
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成30年度	
総 人 口	429,980	429,960	430,468	430,029	430,994	426,598	
公 共 下 水 道	汚水衛生処理人口	338,065	344,178	349,786	354,695	359,379	375,433
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	78.6%	80.0%	81.3%	82.5%	83.4%	88.0%
農 業 集 落 排 水 施 設 等	汚水衛生処理人口	6,058	6,313	5,973	5,997	6,015	6,059
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.4%	1.5%	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%
合 併 処 理 浄 化 槽 等	汚水衛生処理人口	19,920	18,557	18,362	18,170	18,011	14,356
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	4.6%	4.3%	4.3%	4.2%	4.2%	3.4%
未 処 理 人 口	汚水衛生未処理人口	65,937	60,912	56,347	51,167	47,589	30,750

※ 別添資料3として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施 設 種 別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備 考
		基 数	処理人口	開始年月	基 数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	加古川市	289	1,179	平成18年4月	80	320	平成30年度	
	稲美町	121	377	平成4年度	35	120	平成30年度	

※ 別添資料1として計画地域内の施設の状況（現況）を地図上に示したものを添付した。

様式2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2（平成24年度）

事業種別	事業番号 ※1	事業主体 名称 ※2	規模		事業期間 交付期間		総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備考		
			単位		開始	終了	H25	H26	H27	H28	H29	H25	H26	H27	H28	H29			
○再生利用に関する事業							203,266	46,266	0	0	78,500	78,500	195,370	38,370	0	0	78,500	78,500	
加古郡ストックヤード木くず(剪定枝)資源 化施設整備事業	1	加古郡衛生 事務組合	8	t/日	H25	H25	46,266	46,266	0	0	0	0	38,370	38,370	0	0	0	0	稲美町 播磨町
不燃・粗大ごみ処理センター整備事業 (本計画分は廃焼却施設解体工事)	3	高砂市	40	t/日	H28	H33	157,000	0	0	0	78,500	78,500	157,000	0	0	0	78,500	78,500	施設本体 H30~H33
○熱回収等に関する事業							628,000	0	0	0	314,000	314,000	628,000	0	0	0	314,000	314,000	
(仮称)高効率ごみ発電施設整備事業 (本計画分は廃焼却施設解体工事)	2	高砂市	430	t/日	H28	H33	628,000	0	0	0	314,000	314,000	628,000	0	0	0	314,000	314,000	施設本体 H30~H33
○浄化槽に関する事業							41,870	8,374	8,374	8,374	8,374	8,374	41,870	8,374	8,374	8,374	8,374	8,374	
合併浄化槽設置整備	4	加古川市	80	基	H25	H29	29,840	5,968	5,968	5,968	5,968	5,968	29,840	5,968	5,968	5,968	5,968	5,968	
合併浄化槽設置整備	4	稲美町	35	基	H25	H29	12,030	2,406	2,406	2,406	2,406	2,406	12,030	2,406	2,406	2,406	2,406	2,406	
○計画支援事業							331,396	7,020	33,696	125,680	140,000	25,000	320,780	2,520	32,580	125,680	140,000	20,000	
(仮称)高効率ごみ発電施設整備事業 に係る基本設計等調査事業(測量・ 地質調査、基本設計、発注支援書の作 成等)	31	高砂市			H25	H29	94,148	3,510	14,688	24,000	32,000	20,000	87,390	1,260	14,130	24,000	32,000	16,000	
(仮称)高効率ごみ発電施設整備事業 に係わる生活環境影響調査事業	31	高砂市			H26	H28	200,000	0	4,320	95,680	100,000	0	200,000	0	4,320	95,680	100,000	0	
不燃・粗大ごみ処理センター整備事業 に係わる基本設計等調査事業(測量・ 地質調査、基本設計、発注支援書の作 成等)	32	高砂市			H25	H29	37,198	3,510	14,688	6,000	8,000	5,000	33,390	1,260	14,130	6,000	8,000	4,000	
合 計							1,204,532	61,660	42,070	134,054	540,874	425,874	1,186,020	49,264	40,954	134,054	540,874	420,874	

※1 事業番号については、計画本文3(3)表3に示す事業番号及び様式3の施設整備に関する事業番号と一致させること。また、様式3に示す施策のうち関連するものがあれば、併せて番号を記入すること。

※2 広域連合、一部事務組合等については、欄外に構成する市町村を注記すること。

※3 事業番号31、32の基本設計等調査事業は一体であるが、表中では8:2に案分計上(但し、H25、H26は5:5)

様式3

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号※1	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考
					開始	終了		H25	H26	H27	H28	H29	
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	資源の有効利用	埋立処分しているばいじんの一部をセメントリサイクル化するよう調査、研究を実施し、最終処分量減とともに再資源化に取り組む。	加古川市	H26	H29	否	実施期間					
	12	再使用の推進	加古郡リサイクルプラザでのフリーマーケットや母子手帳交付と同時に案内チラシを配布し、ベビー用品の貸出を実施し、拠点の充実を図り、リユース製品の積極的利用を推進する。	稲美町 播磨町	H25	H29	否	継続実施 新規貸出拠点 貸出拠点の運用開始					
	13	再資源化の推進	集団回収に対するの助成金制度の案内強化により資源回収量の回復をはかる。	加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	充実強化					
	14	環境教育の充実	啓発活動だけでなく、社会教育や生涯教育の場にも環境に対する情報発信を幅広く行う。	加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	充実強化					
	15	生ごみの減量(水きり)の徹底	家庭から排出される生ごみについて、水きりの実施を推奨する。また、エコクッキングの紹介や「食育」の一環として食べ残しをなくすための啓発を行う。	加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	啓発・指導					
	16	マイバッグ運動の促進	スーパー等で配布されるレジ袋の使用を抑制するための買い物用マイバッグの持参を促進する。	加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	啓発・指導					
	17	詰め替え商品の購入促進	容器包装削減のため、詰め替え商品の購入を促進する。	加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	啓発・指導					
	18	リユース容器の活用促進	イベントや行事において、使い捨て容器の排出を抑制するために、リユース容器を積極的に活用するよう主催者や参加者へ啓発を行う。	加古川市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	啓発・指導					
	19	雑がみ類の資源物回収の徹底	可燃ごみに混入している雑がみ類等の資源化可能な紙類の分別を徹底し、資源化を促進する。	加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	分別の徹底					
	20	指定ごみ袋制の導入等	ごみ減量や再使用の促進等が期待でき、住民の協力を得られる指定ごみ袋制や有料化を検討する。	加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	H28	H29	否	導入等の検討					
	21	粗大ごみの有料化	粗大ごみの戸別収集における有料化について検討する。	加古川市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	導入等の調査・検討					
	22	剪定枝の資源化	剪定枝の資源化を推進する。	加古川市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	調査・研究	再資源化の実施				関連事業1
	23	資源回収協力の推進	食品トレイの資源回収の協力を依頼するとともに、その他の資源回収についても調査研究を行っていく。	加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	調査・研究	導入の検討				関連事業1
	24	食品残飯のリサイクルの促進	食品製造業などの事業者に対して、食品廃棄物の発生抑制、堆肥化等の再生利用促進のための周知を行う。	加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	生ごみ減量化施策の啓発					

施策種別	事業番号 ※1	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考
					開始	終了		H25	H26	H27	H28	H29	
発生抑制、再使用の推進に関するもの	25	適正な処理手数料の設定	経済インセンティブを利用した排出抑制再生利用の促進、排出量に応じた負担の公平化を図るため処理手数料の改定を検討する。	加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	調査・研究		見直し			
	26	排出者、収集運搬業者への分別排出、排出抑制の指導	排出者、収集運搬業者に対し、ごみの適正排出、適正な収集運搬を行うために講習会やチラシに通じた指導を行う。また、事業者に対するごみ減量を促進する手引き等を配布するとともに、多量排出事業者への指導を強化する。	加古川市 高砂市	H25	H29	否	啓発・指導					
				稲美町 播磨町				事業所手引きの作成	事業者への手引き配布				
	27	事業系ごみ対策	事業系ごみについて、分別、資源化を行うよう指導する。	加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	啓発・指導					
28	衛生処理率の向上	生活排水処理の必要性・重要性を住民に周知するための広報等による啓発活動を実施し、単独浄化槽や汲取り人口の減少を図る。	加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	継続実施						
処理施設の整備 に関するもの	1	加古郡ストックヤード木くず(剪定枝)資源化施設整備	既存木材破砕施設の老朽化、リサイクル率の向上のため木くず(剪定枝)破砕資源化施設を整備する。	加古郡衛生事務組合(稲美町、播磨町)	H25	H25	要	施設整備					関連事業 22、41
	2	高効率ごみ発電施設整備事業	本体施設建設に先立ち、既設ごみ焼却施設を解体する。	高砂市	H28	H29 (H33)	要					焼却施設 解体工事	関連事業 31
	3	不燃・粗大ごみ処理センター整備事業	本体施設建設に先立ち、既設ごみ焼却施設を解体する。	高砂市	H28	H29 (H33)	要					焼却施設 解体工事	関連事業 32
	4	合併浄化槽設置事業	生活排水処理対策として、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進する。	加古川市 稲美町	H25	H29	要	合併浄化槽整備					
施設整備に係る計画支援 に関するもの	31	(仮)高効率ごみ発電施設整備に係わる基本設計等調査事業	事業番号2の施設整備を行うため、測量、地質調査、基本設計、発注仕様書等の作成などを行う。	高砂市	H25	H29	要	測量、地質調査、基本設計、発注仕様書等の作成					関連事業 2 次期計画により 本体整備
		(仮)高効率ごみ発電施設整備に係わる生活環境影響調査調査事業	事業番号2の施設整備を行うため、生活環境影響調査を行う。	高砂市	H26	H28	要	現況調査・ 予測評価書 作成					関連事業 2 次期計画により 本体整備
	32	(仮)不燃・粗大ごみ処理センター整備に係わる基本設計等調査事業	事業番号3の施設整備を行うため、測量、地質調査、基本設計、発注仕様書等の作成などを行う。	高砂市	H25	H29	要	測量、地質調査、基本設計、発注仕様書等の作成					関連事業 3 次期計画により 本体整備
その他	41	処理木材チップの需要拡大事業	マテリアルリサイクル推進施設の整備後、木材チップの利用者の拡大をはかる。	稲美町 播磨町	H25	H29	否	基礎調査	事業の実施				
	42	「取り扱わないごみ」の指定及び適切対応の啓発	特別管理一般廃棄物、有害物質含有物や、爆発性・発火性のある物は、適正な対応が図られるよう、広報等による住民への周知を進める。	加古川市 高砂市	H25	H29	否	継続実施					
				稲美町 播磨町				準備期間及び 周知期間	周知の徹底				
	43	不法投棄対策	不法投棄に対する監視指導体制の拡充・強化を図る。	加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	充実強化					
	44	資源ごみ持ち去り防止対策	ステーションに出された資源ごみの持ち去り禁止条例を施行し、定期的なパトロールを実施する。	加古川市	H25	H29	否	継続実施					
45	災害廃棄物への対応	「兵庫県災害廃棄物処理の相互応援に関する協定」に基づき、広域的処理体制の確保をはかる。	加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	H25	H29	否	充実強化						

## 施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 兵庫県

(1) 事業主体名	加古郡衛生事務組合
(2) 施設名称	(仮称)加古郡ストックヤード木くず(剪定枝)資源化施設
(3) 工期	平成 25 年度
(4) 施設規模	処理能力 8 t/日
(5) 処理方式	破砕・保管 : 当面はマルチング材等として利用 : 製品性を高め、肥料原料等の利用拡大
(6) 地域計画内の役割	資源化の向上、破砕可燃物・最終処分量の減量
(7) 廃焼却施設解体工事の 有無	有 <span style="margin-left: 100px;">(無)</span>

「廃棄物原料化施設」を整備する場合

(8) 生成する原材料及びその 利用計画	—
-------------------------	---

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

(9) 固形燃料の利用計画	—
---------------	---

「ストックヤード」を整備する場合

(10) スtock対象物	—
---------------	---

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(11) 容器包装リサイクル推進 施設の内訳	—
---------------------------	---

(12) 事業計画額 資源化施設整備費	46,266千円
------------------------	----------



## 施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 兵庫県

(1) 事業主体名	高砂市
(2) 施設名称	不燃・粗大ごみ処理センター
(3) 工期	平成28年度～平成29年度（廃焼却施設解体工事分）
(4) 施設規模	処理能力 40 t/日
(5) 処理方式	破碎・選別
(6) 地域計画内の役割	不燃・粗大ごみ処理センターの整備に先立つ、既設焼却施設の解体
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	(有) 無

「廃棄物原料化施設」を整備する場合

(8) 生成する原材料及びその利用計画	—
---------------------	---

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

(9) 固形燃料の利用計画	—
---------------	---

「ストックヤード」を整備する場合

(10) スtock対象物	—
---------------	---

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(11) 容器包装リサイクル推進施設の内訳	—
-----------------------	---

(12) 事業計画額	157,000千円（廃焼却施設解体工事費）
------------	-----------------------

## 施設概要（熱回収施設系）

都道府県名 兵庫県

(1) 事業主体名	高砂市
(2) 施設名称	(仮称) 高効率ごみ発電施設
(3) 工期	平成28年度～平成29年度（廃焼却施設解体工事分）
(4) 施設規模	処理能力 430 t/日、9,200kw
(5) 形式及び処理方式	全連続燃焼方式
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 <input checked="" type="radio"/> (発電効率 18.5%)・無 2. 熱回収の有無 <input checked="" type="radio"/> (熱回収率 20.0%)・無
(7) 地域計画内の役割	(仮称) 高効率ごみ発電施設の整備に先立つ、既設焼却施設の解体
(8) 廃焼却施設解体工事の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 無

「灰溶融施設」を整備する場合

(9) スラッグの利用計画	—
---------------	---

「高効率原燃料回収施設」を整備する場合

(10) 発生ガス回収効率及び発生ガス量	—
(11) 回収ガスの利用計画	—

(12) 事業計画額	628,000千円（廃焼却施設解体工事費）
------------	-----------------------

## 【参考資料様式5】

## 施設概要（浄化槽系）

都道府県名 兵庫県

(1) 事業主体名	加古川市
(2) 整備計画の方針	加古川市では生活排水処理の効率性等から、比較的人口の密集している地域では、公共下水道、農業集落排水事業を計画しており、これら集合処理区域外の区域においては、合併浄化槽の整備を進めている。
(3) 事業の実施目的及び内容	①目的:生活排水による公共用水域の汚染防止を図るとともに、良好な生活環境及び公共用水域の水質保全を確保する。 ②内容:個人による合併処理浄化槽設置に対し、補助金を交付する。
(4) 設置整備事業の整備期間	有（平成25年度～29年度）
(5) 浄化槽整備状況	25年度整備計画人口/全体整備計画人口(%) <u>20.0 %</u> 24年度までの整備人口/全体整備人口 (%) <u>78.7 %</u>
(6) 具体的な整備計画	総事業費 29,840 千円（整備計画人口 320人分） 選定額 29,840 千円 所要額 9,945 千円

## ○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

## 【浄化槽設置整備事業の場合】

単位:千円

区分	交付対象基数 (○人分)	基準額	対象経費 支出予定額	選定額
5人槽	40基( 160人分)	13,280	13,280	13,280
6～7人槽	40基( 160人分)	16,560	16,560	16,560
8～10人槽	0 基( 0人分)			
11～20人槽	0 基( 0人分)			
21～30人槽	0 基( 0人分)			
31～50人槽	0 基( 0人分)			
51人槽以上	0 基( 0人分)			
合計	80 基( 320 人分)	29,840	29,840	29,840

【参考資料様式5】

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 兵庫県

(1) 事業主体名	稲美町
(2) 整備計画の方針	稲美町では生活排水処理の効率性等から、比較的人口の密集している地域では、公共下水道、農業集落排水事業を計画しており、これら集合処理区域外の区域においては、合併浄化槽の整備を進めている。
(3) 事業の実施目的及び内容	①目的:生活排水による公共用水域の汚染防止を図るとともに、良好な生活環境及び公共用水域の水質保全を確保する。 ②内容:個人による合併処理浄化槽設置に対し、補助金を交付する。
(4) 設置整備事業の整備期間	有（平成25年度～29年度）
(5) 浄化槽整備状況	25年度整備計画人口/全体整備計画人口(%) <u>20.0 %</u> 24年度までの整備人口/全体整備人口 (%) <u>75.9 %</u>
(6) 具体的な整備計画	総事業費 12,030 千円（整備計画人口 120人分） 選定額 12,030 千円 所要額 4,010 千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

単位:千円

区分	交付対象基数 (○人分)	基準額	対象経費 支出予定額	選定額
5人槽	30 基( 90人分)	9,960	9,960	9,960
6～7人槽	5 基( 30人分)	2,070	2,070	2,070
8～10人槽	0 基( 0人分)			
11～20人槽	0 基( 0人分)			
21～30人槽	0 基( 0人分)			
31～50人槽	0 基( 0人分)			
51人槽以上	0 基( 0人分)			
合計	35 基( 120人分)	12,030	12,030	12,030

## 計画支援概要

都道府県名 兵庫県

(1) 事業主体名	高砂市	
(2) 事業目的	高効率ごみ発電施設整備のため	
(3) 事業名称	(仮称)高効率ごみ発電施設整備 (事業番号2)に係る基本設計等調査事業	(仮称)高効率ごみ発電施設整備 (事業番号2)に係る環境影響調査事業
(4) 事業期間	平成25年度～平成29年度	平成26年度～平成28年度
(5) 事業概要	測量・地質調査、廃焼却施設DXN調査、基本設計、発注仕様書の作成等	生活環境影響調査
(6) 事業計画額	94, 198千円	200, 000千円

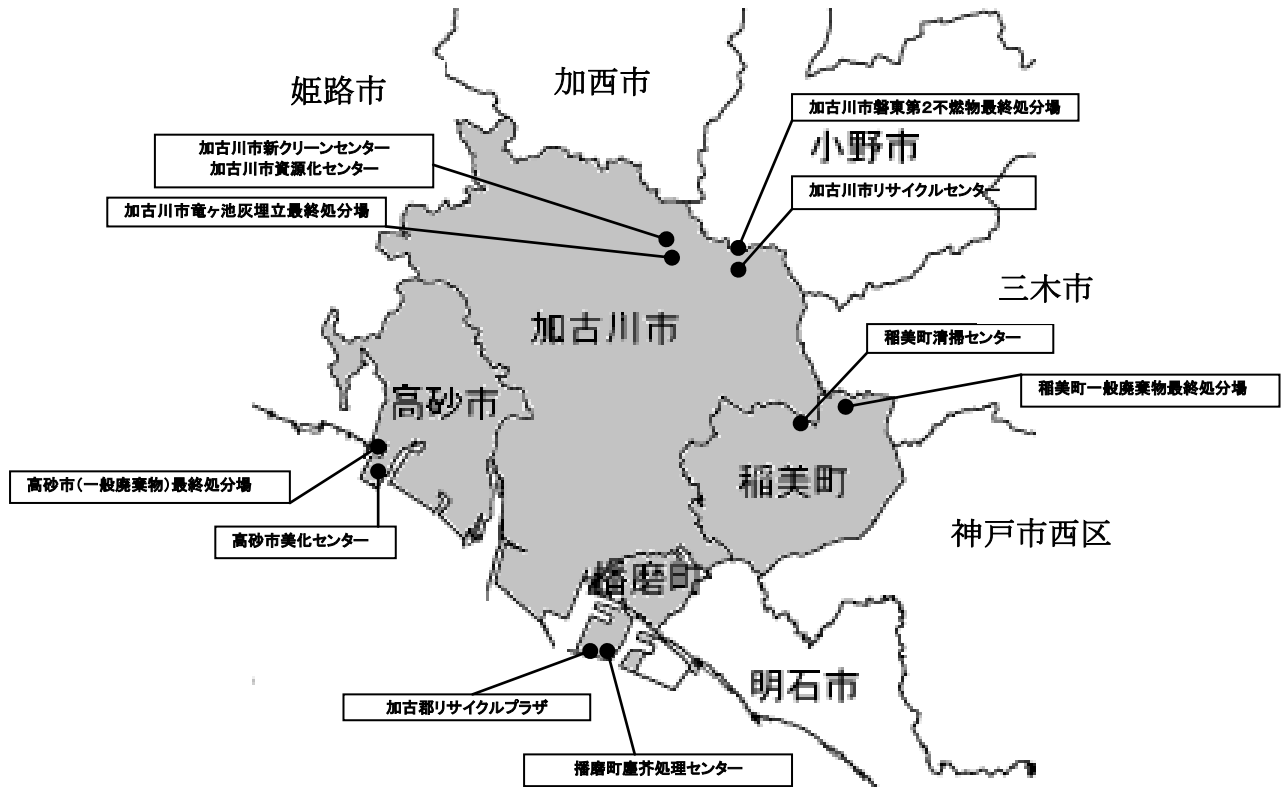
## 計画支援概要

都道府県名 兵庫県

(1) 事業主体名	高砂市
(2) 事業目的	マテリアルリサイクル推進施設整備のため
(3) 事業名称	不燃・粗大ごみ処理センター整備(事業番号3)に係る基本設計等調査事業
(4) 事業期間	平成25年度～平成29年度
(5) 事業概要	測量・地質調査、廃焼却施設DXN調査、基本設計、発注仕様書の作成等
(6) 事業計画額	37,198千円

別添資料1

現有施設位置図



別添資料2

現有ごみ処理施設の概要

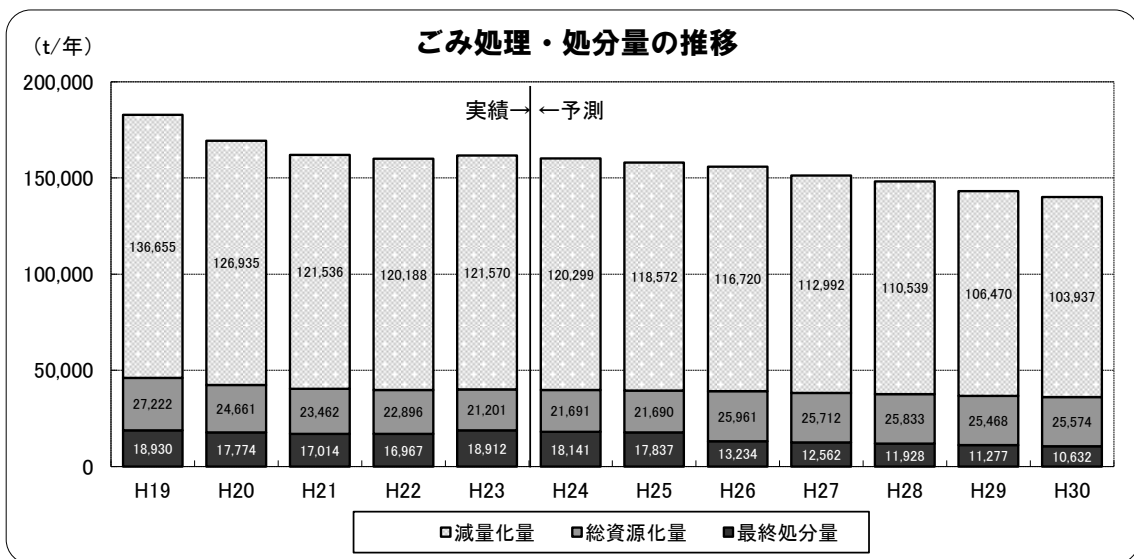
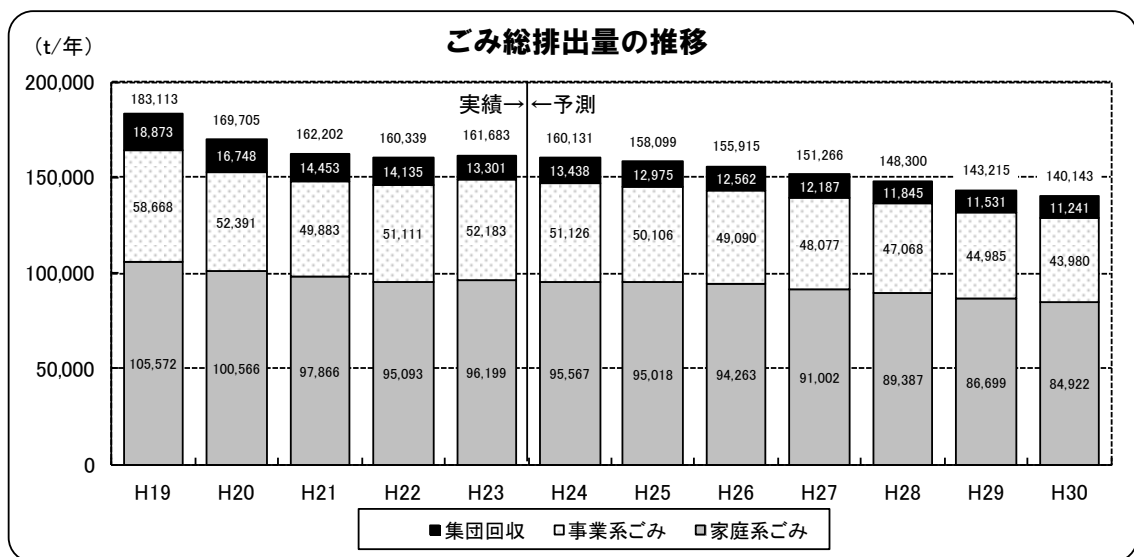
実施主体	施設名	施設の種類	処理する廃棄物	処理能力	所在地	竣工年	備考
加古川市	加古川市新クリーンセンター	焼却施設	可燃ごみ	432t/日(144t×3炉)	加古川市平荘町上原4-1	平成15年	全連続式流動床炉
	加古川市リサイクルセンター	粗大ごみ処理施設	粗大ごみ 不燃ごみ	80t/5H	加古川市平荘町磐1146	昭和63年	破碎・選別
	加古川市資源化センター	中継施設	紙類 蛍光灯 乾電池	567m <sup>3</sup>	加古川市平荘町上原210番地の1	平成24年	
	加古川市竜ヶ池灰埋立最終処分場	最終処分場	焼却残渣	121,600m <sup>3</sup>	加古川市上荘町小野675-1	昭和55年	管理型
	磐東第2不燃物最終処分場	最終処分場	不燃残渣	120,730m <sup>3</sup>	加古川市上荘町白沢地先	昭和62年	
高砂市	高砂市美化センター	焼却施設	可燃ごみ	194t/日(97t×2炉)	高砂市梅井6-1-1	平成15年	全連続式流動床ガス化溶融炉
	高砂市美化センター (リサイクルプラザ)	粗大ごみ処理施設	粗大ごみ 不燃ごみ かん・びん・ペット	30t/5H	高砂市梅井6-1-1	平成15年	破碎・圧縮・選別
	高砂市最終処分場	最終処分場	不燃焼物	144,600m <sup>3</sup>	高砂市曾根町2928	平成4年	管理型
稲美町	稲美町清掃センター	焼却施設	可燃ごみ	30t/日(15t×2炉)	加古郡稲美町加古624-1	平成8年	バッチ式ストーカ
	稲美町一般廃棄物最終処分場	最終処分場	埋立物	30,888m <sup>3</sup>	加古郡稲美町下草谷441番地の137他	昭和63年	安定型
播磨町	播磨町塵芥処理センター	焼却施設	可燃ごみ	90t/日(45t×2炉)	加古郡播磨町新島59番地	平成4年	準連続式ストーカ
	播磨町塵芥処理センター内 缶プレス施設	資源化施設	空き缶	1t/5H	加古郡播磨町新島59番地	平成5年	圧縮成形方式
	播磨町塵芥処理センター内 パック、蛍光灯保管場所	中継施設	牛乳パック 蛍光灯	容量 200m <sup>3</sup>	加古郡播磨町新島59番地	平成5年	
加古郡衛生 事務組合	加古郡リサイクルプラザ	粗大ごみ処理施設	粗大ごみ 不燃ごみ	15t/5H	加古郡播磨町新島60番地	平成10年	二軸式+高速回転式破碎
	加古郡リサイクルプラザ内ペットボ トル処理施設	資源化施設	ペットボトル	0.5t/5H	加古郡播磨町新島60番地	平成10年	圧縮減容梱包
	加古郡ストックヤード	資源化施設	プラスチック製容器包 装類	10t/5H	加古郡播磨町新島60番地	平成13年	圧縮梱包
	加古郡ストックヤード 木くず(剪定枝)資源化施設	資源化施設	木くず(剪定枝) (粗大ごみ区分)	8.5t/5H	加古郡播磨町新島60番地	平成12年	チップ化



### 別添資料3

### ごみの主な指標グラフ

指 標	実績					予測							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
排 出 量	事業系 総排出量(トン)	58,668	52,391	49,883	51,111	52,183	51,126	50,106	49,090	48,077	47,068	44,985	43,980
	1事業所当たりの排出量(トン/事業所) <sup>※2</sup>	3.60	3.22	3.06	3.14	3.20	3.13	3.06	3.00	2.87	2.81	2.68	2.62
	家庭系 総排出量(トン)	105,572	100,566	97,866	95,093	96,199	95,567	95,018	94,263	91,002	89,387	86,699	84,922
	1人当たりの排出量(kg/人) <sup>※3</sup>	228	220	216	211	212	211	210	209	201	198	192	188
	合 計 事業系家庭系排出量合計(トン)	164,240	152,957	147,749	146,204	148,382	146,693	145,124	143,353	139,079	136,455	131,684	128,902
再生利用量	集团回収量を含む排出量合計(トン)												
再生利用量	直接資源化量	6,438	4,809	3,993	3,810	4,366	4,567	4,726	4,661	5,801	5,787	5,772	5,755
	総資源化量(集团回収を含む)	27,222	24,661	23,462	22,896	21,201	21,691	21,690	25,961	25,712	25,833	25,468	25,574
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)												
減 量 化 量	中間処理による減量化量												
最終処分量	埋立最終処分量												

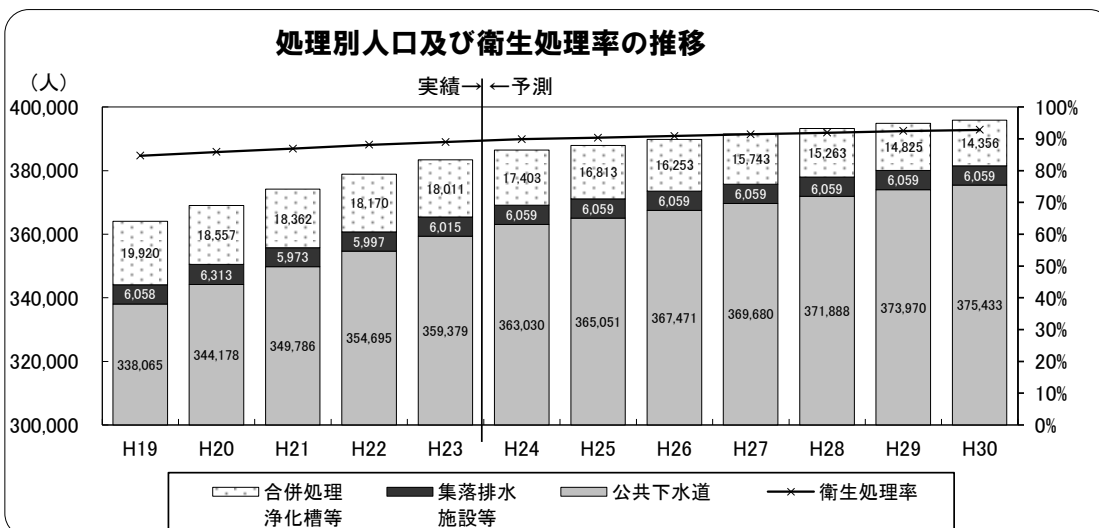
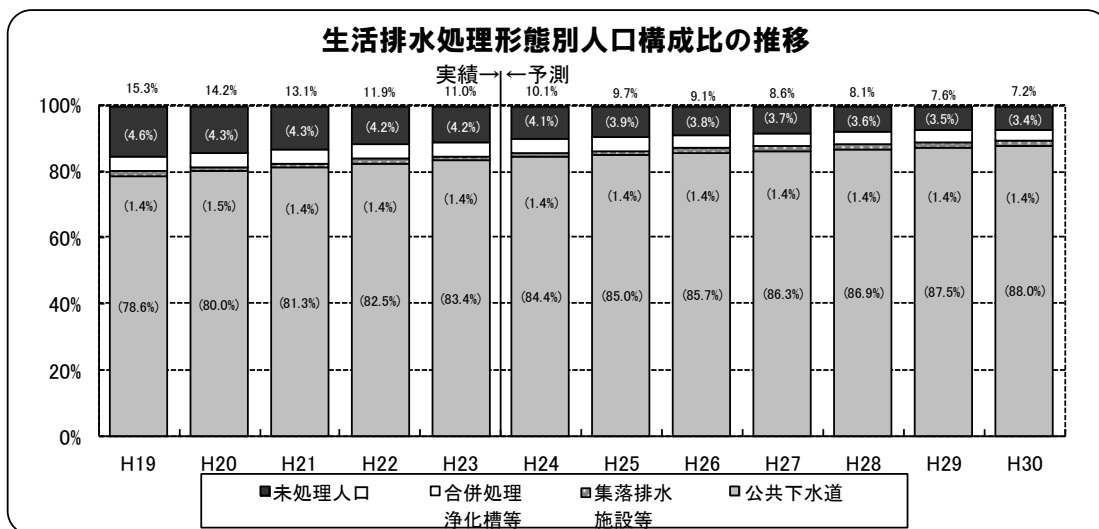


## 別添資料4

### 生活排水の主な指標グラフ

指 標	実 績					予 測							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
総 人 口	人	429,980	429,960	430,468	430,029	430,994	430,047	429,472	428,897	428,322	427,747	427,173	426,598
公 共 下 水 道	人	338,065	344,178	349,786	354,695	359,379	363,030	365,051	367,471	369,680	371,888	373,970	375,433
	(%)	(78.6%)	(80.0%)	(81.3%)	(82.5%)	(83.4%)	(84.4%)	(85.0%)	(85.7%)	(86.3%)	(86.9%)	(87.5%)	(88.0%)
集 落 排 水 施 設 等	人	6,058	6,313	5,973	5,997	6,015	6,059	6,059	6,059	6,059	6,059	6,059	6,059
	(%)	(1.4%)	(1.5%)	(1.4%)	(1.4%)	(1.4%)	(1.4%)	(1.4%)	(1.4%)	(1.4%)	(1.4%)	(1.4%)	(1.4%)
合 併 処 理 浄 化 槽 等	人	19,920	18,557	18,362	18,170	18,011	17,403	16,813	16,253	15,743	15,263	14,825	14,356
	(%)	(4.6%)	(4.3%)	(4.3%)	(4.2%)	(4.2%)	(4.1%)	(3.9%)	(3.8%)	(3.7%)	(3.6%)	(3.5%)	(3.4%)
未 処 理 人 口	人	65,937	60,912	56,347	51,167	47,589	43,555	41,549	39,114	36,840	34,537	32,319	30,750

※各年 年度末人口



## 別添資料 5

## ごみの分別区分(1/2)

○加古川市

分別区分		種 類
燃えるごみ		台所ごみ、ビニール類、紙くず、プラスチック類、皮製品類、ゴム類、布類、履物、少量の木、草、枯葉類、発泡スチロール、焼却灰、使い捨てカイロ、乾燥剤、長靴など
燃えないごみ		陶器類、ガラス、混合物、金属物、小型家電品など
粗大ごみ		家具、電化製品、自転車、敷物、寝具類など(蛍光灯、乾電池類 ※収集のみ)
資源ごみ	缶	スチール缶、アルミ缶、カセットボンベ、スプレー缶など
	瓶	酒、調味料、ジュース瓶など
	ペットボトル	ミネラルウォーターの容器、ジュースのペットボトルなど
	布類	布類、衣類など
	紙類	新聞紙、雑がみ、牛乳パック、ダンボールなど

○高砂市

分別区分		種 類
燃えるごみ		台所ごみ、紙類、少量の木、草、枯葉類、ふとん、敷物類、たたみ、ビデオテープ、CD、履物、小さいプラスチック類、ゴム類、衣類、発泡スチロール、スポンジなど
燃えないごみ、粗大ごみ		家具類、家電製品、やかん、缶などの金属類、蛍光灯、ガラス類、茶わん、植木鉢、かさ、大きなプラスチック類、ストーブ、自転車、ベビーカー、ゴルフクラブ、スキー板など
資源ごみ	紙類・布類	新聞、雑誌、段ボール、古着、肌着、シャツ、タオル、シーツなど
	ペットボトル	ミネラルウォーターの容器、ジュースのペットボトルなど
	空き缶	飲料用の空き缶類、スプレー缶など
	空き瓶	飲料用の瓶など
廃乾電池		マンガン電池、アルカリ電池など

## 別添資料 5

## ごみの分別区分(2/2)

○稲美町

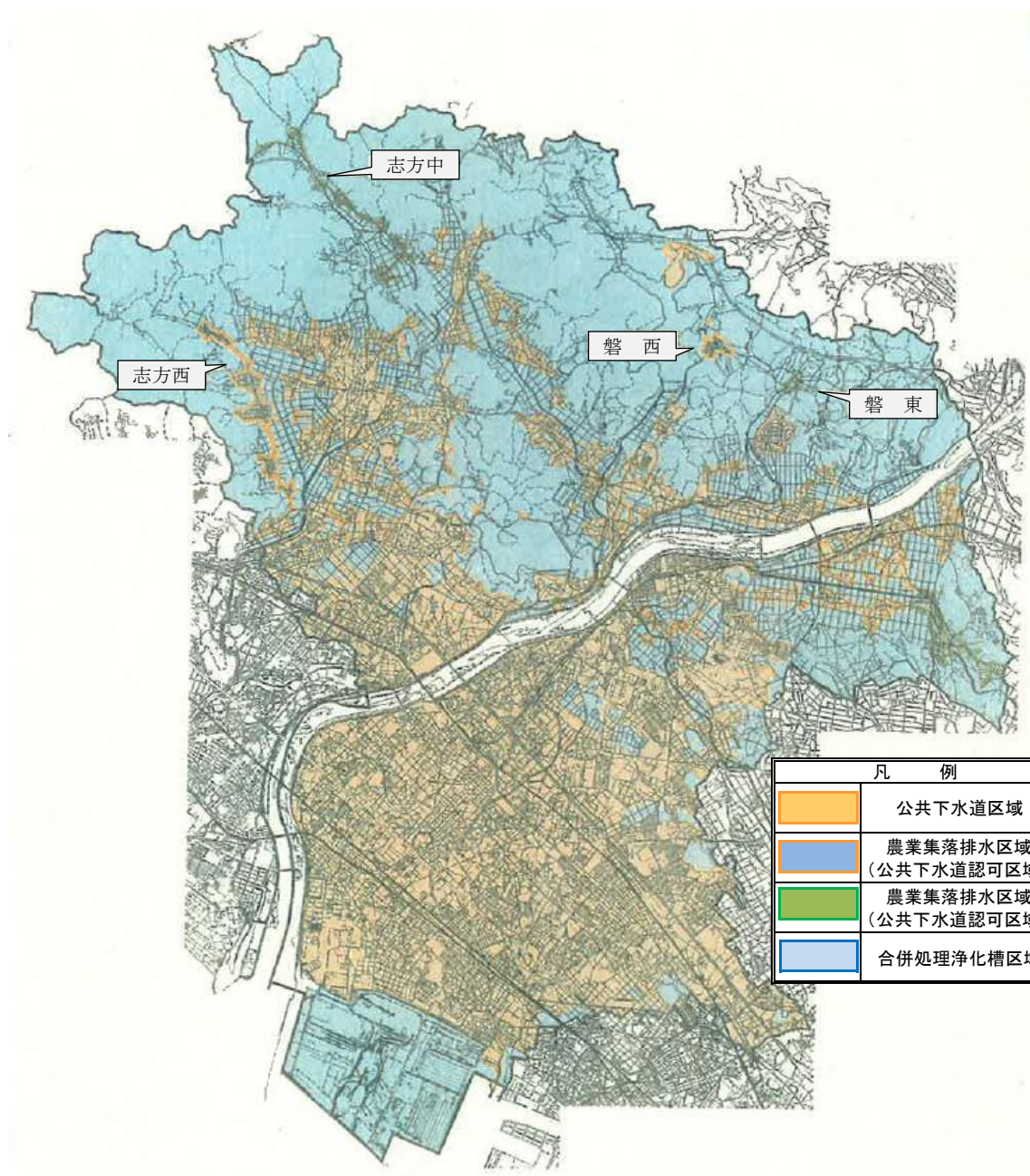
分別区分		種 類
燃えるごみ		アルミ箔、板切れ、植木鉢(プラスチック製)、落ち葉、貝殻、カイロ、カセットテープ、かばん、紙おむつ、枯葉、枯草、乾燥剤、革製品、履物類、ゴム類、CD、座布団、食器(木製、プラスチック製)、ストッキング、スポンジ、タッパー(台所用)、てんぷら油、生ごみ類、ビニールパイプ、プラスチック製品(容器類を除く)、プリンター、フロッピーディスク、ポリタンク、保冷剤、枕(磁器枕を含む)、まな板(木製、プラスチック類)、ライターなど
燃えないごみ		アイロン、安全ピン、板ガラス、一斗缶、植木鉢(陶器製)、延長コード、電子レンジ、金属製おもちゃ、傘、鏡、ガラス類、乾電池、蛍光灯、皿(陶器、ガラス製)、タイル、釣竿、電球、ドライヤー、ヘルメット、やかんなど
粗大ごみ		雨戸、アルミサッシの枠、衣装ケース、自転車、エレキトーン、カーペット、ガスコンロ、クーラーボックス、金庫、原動機付自動車、ござ、ゴルフクラブ、芝刈り機、食器乾燥機、ストーブ、扇風機、掃除機、ソファ、チャイルドシート、電子レンジ、ビデオデッキ、ファンヒーター、ブラインド、プリンターなど
資源ごみ	布類	衣類、カーテン、タオル、毛布など
	古紙類	紙袋、牛乳パック、雑誌類、段ボール、包装紙、本など
	空き缶	御菓子の缶、缶詰の缶、ジュースの缶、ビールの缶、ミルク缶など
	スプレー缶	カセットガスボンベ
	空き瓶	酒の瓶、のりの瓶、ワンカップの瓶など
	ペットボトル	ミネラルウォーターの容器、ジュースのペットボトルなど
	プラ容器類	シャンプー類容器、洗剤容器、卵パック、発泡スチロール、ポリ袋、ペットボトルの蓋、ラベル、ラップ類など

○播磨町

分別区分		種 類
燃えるごみ		台所ごみ、ビニール、紙類、プラスチック類、皮製品類、ゴム類、履物類、玩具類など
燃えないごみ		陶器類、ガラス混合物、金属類、小型家電品など
粗大ごみ		家具、電化製品、自転車、原動機付自動車(50cc以下)、たらい、物干し台、物干し竿、直径5cm以上の剪定枝、カーペット、大きい布団など
資源	空き缶	ジュース、ビール、ミルク、菓子、缶詰などのスチール缶及びアルミ缶、スプレー缶、カセット・ガスボンベの缶、中身のないペンキの缶など
	空き瓶	酒、調味料、ジュース等
	ペットボトル	ミネラルウォーターの容器、ジュースのペットボトル
	プラスチック容器類	食料品や、日用品のボトル、袋、パック、カップ、バック、ラップ、トレイ、玉ねぎやみかん等のネット、発砲スチロール製緩衝剤、シート
	紙類	段ボール、雑誌、新聞、パンフレット、紙パック、紙箱、紙袋、包装紙など
	布類	シーツ、タオル、カーテン、毛布など
	食用廃油	てんぷら油など
	蛍光灯	蛍光灯

別添資料6

加古川市生活排水処理計画図





別添資料7

稲美町生活排水処理計画図

